

各 位

2026年5月12日
株式会社G S I クレオス
経営企画部 企画広報課

ブラジル・コチア市に 公的医療制度（SUS）対応の人工透析クリニックを開設 －地方都市における医療アクセス向上と社会課題解決に貢献－

株式会社G S I クレオス（東京都港区／代表取締役 社長執行役員 吉永 直明、以下当社）は、ブラジル・サンパウロ州コチア市において、パートナー企業である RENAL BRASIL PARTICIPAÇÕES LTDA.社とともに公的医療制度（SUS：Sistema Único de Saúde）に対応した人工透析クリニックを開設し、2026年4月27日にオープニングセレモニーを執り行いました。

本施設は、コチア市における初の人工透析クリニックであり、同市および市保健当局からの要請を受けて設立したものです。これにより、コチア市に居住するおよそ300人の透析患者に人工透析治療を提供します。これまで近隣都市への長時間移動を余儀なくされていた患者に対し、市内での継続的な透析治療の提供が可能となり、医療アクセスの大幅な改善が期待されます。



開所式でのスピーチで地域住民から拍手喝采を受ける吉永

開所式にはコチア市長および市保健局長をはじめ、関係者や地域住民など100名以上が出席し、地域医療体制の強化に対する期待の高さが示されました。また、地元メディアによる取材も行われ、地域社会における重要なインフラ整備として広く報じられています。

G S I クレオスグループは、“GSI Creos Memorial Clinic” の名のもと、2021年より当地で透析クリニックの経営を推進しております。本クリニックはグループの5拠点目の透析施設となりますが、これまでの民間医療保険に依存した施設とは異なり、ブラジルの公的医療制度（SUS）を活用した市民向け医療サービスの提供を主目的としています。これは、日本企業が現地政府と連携し、公的医療分野において持続可能な形で医療サービスを提供する取り組みとしても意義を有します。

近年、ブラジルにおいては慢性腎不全患者の増加や医療格差が課題となっており、特に地方都市における透析医療の不足が指摘されています。本施設はこうした社会課題に対する具体的な対応の一例であり、地域住民の健康維持と生活の質の向上に寄与するものです。

当社グループは今後も、各国・地域のニーズに応じた医療インフラの整備を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【新クリニックの概要】

名称	Centro de Nefrologia de Cotia		
所在地	494 Belém Street, Jardim Ipês –Cotia - SP, Brazil.		
資本金	3,100,000 レアル	開業予定月	2026年5月
規模	50床	予定患者数	約300名

以上

【G S I クレオスとは】

G S I クレオスは、国内に 9、海外に 27 の事業拠点を持ち、“繊維”と“工業製品”の両事業をグローバルに展開する事業創造型商社です。繊維原料から、生地、アパレル製品、化学品、ホビー商材、機械、半導体部材、ナノテクノロジーまで、国内外のネットワークを駆使して幅広く事業を展開しています。「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパス（存在意義）のもと、ESG 経営を推進し、社会課題の解決と人びとの幸せの実現を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 Tel 03-5418-2122